



学校だより

令和6年1月9日
福生市立福生第三小学校
校長：浅倉 宏之
住所：福生市牛浜162
電話：551-0249

<http://fussa-3e.hs.fussa.school/>

新しい年を迎えるにあたり

校長 浅倉 宏之

令和6年、新しい年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては穏やかなお正月を迎えられましたでしょうか。昨年中は、皆様方に様々な場面で本校を支えていただきました。改めましてお礼を申し上げます。本年も多大なる御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

ここまで記したところで、元日から能登半島の大地震、羽田空港での航空機衝突事故の凶報が飛び込み、皆が無事かと気が気ではありませんでした。被害にあわれた方々の一日も早い御回復・平常復帰をお祈り申し上げます。

さて、1月の詩の暗唱で十二支を題材にしました。本来は十干十二支の組み合わせで、60種類あります。今年は『甲』と『辰』の組み合わせの『甲辰（きのえたつ）』です。『甲』は甲冑（かっちゅう）の『甲』の文字から鎧や兜を表し、種子が厚い皮に守られて芽を出さない状態や、物事に対して耐え忍ぶ状態を表す文字です。また、生命や物事の始まり、成長も意味します。『辰』は「振るう」という文字に由来し、自然万物が振動し、草木が成長して上に伸びていく状態を表します。このような由来から分かる通り、もともと十二支は1年間の作物の育ちを表したものだそうで、『辰』は上昇してゆく動物がほかにいなかったため、空想上の生き物である『龍』があてられたそうです。60年に一度巡ってくる『甲辰（きのえたつ）』年とは、「新しいことに挑戦して成功する」「これまで準備してきたことが形になる」などと解釈するそうです。子供たちみんなが、龍のように大きく天に向かって上りゆく飛躍の年になるように、また、これまでの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活も大きく「向上」する年になってほしいものです。

毎年年初めになると、高校サッカーや箱根駅伝等のテレビ中継をよく見ます。出場している選手の真剣なまなざしは心打つものがあります。勝負事ですので、喜ぶ者や敗れた者の姿が目まぐるしく映り、私も悲喜こもごも、複雑な感情になります。そこにいたるまでの選手の思いや練習の様子、過程が伝えられると、なおさらです。結果はさておき、ここに至るまでの努力を最大限評価してあげたい気持ちでいっぱいになります。その中で「この大会に出場するのが小さい頃からの夢でした。」というコメントをよく聞きます。競技を始めたであろう、小学生くらいの時から夢や希望をしっかりとち、その実現のために努力を続けることの大切さに気付かされます。メジャーリーガーの大谷選手も目標設定シートを作り、細かな設定を着実にクリアしていたという話は有名です。明確な目標と実現するために休むことなく努力したことが、現在の存在と評価につながっているのでしょう。

三学期は、現在の学年のまとめの学期であると同時に、新学年に向けた準備の学期、0(ゼロ)学期だという話を二学期の終業式にしました。子供たちも新年を迎えるにあたり、新しい年の夢や目標を決めたことと思います。子供たちがその夢の実現に向けて努力し続けられるように、自信をもって活動できる環境を整えていくことが大切だと考えています。

学校生活では、子供たちが安心して生活できる安全な環境作りを一層進めてまいります。御家庭でも基本的な生活習慣である「早寝・早起きをする」「朝ごはんをしっかり食べる」「あいさつをする」などに御配慮いただき、取り組んでいただいていることと思います。基本的な生活習慣が身に付いている子供の学力が高いことは新聞報道等でも伝えられています。親子の風通しがよく、落ち着いた生活の中、学習の準備がきちんとできる子は、それだけで学習に向かう意欲が高くなるということです。ぜひ、今年も学校と家庭の両輪での環境作りをお願いしたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。